※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1206 |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史科 | 科目 | (学)社会入門 | 単位数 | ３単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「詳解現代地図 最新版」二宮書店 | | | | | | |
| 副教材等 | 自主製作プリント | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、中学校の社会の内容の学びなおしを行います。
・学期ごとに地理、歴史、公民の内容の学びなおしをします。
・授業はプリントで行いますが、板書を書き写すだけでなく、先生の話をメモしたり、自らの考えを表現したりする課題が出ます。
・学期ごとにグループワークや調べ学習などを行います。皆さんが積極的に社会の知識を学習する姿勢も評価の対象です。
・授業で学習したことを覚えるだけでなく、得た知識を実生活に活用したり、社会問題を解決するための意見をクラスメイトと議論できるようになることが目標です。

## ２　学習の到達目標

【知識・技能】
・地域社会の成り立ちや特徴を理解する。
・各時代における中心人物について学び、日本や日本と諸外国の関係性について理解する。
・現代社会の仕組みや個人の権利や社会における義務を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・地理的見方をもとに、各地域の暮らしや特徴を考察できる。
・各時代の中心人物について調べ、調べた内容をまとめ発表することができる。
・日常における諸課題の改善を、身につけた公民的資質をもとに、考えることができる。
【学びに向かう力、人間等】
・社会に関する日々のニュースや記事に興味をもち、社会的な出来事や課題を積極的に知ろうとする態度を身につける。
・授業で身につけた情報を日常生活や他の学習においても活用できるようになる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理、歴史、公民の基本的な用語や知識を理解するとともに、地理や地理的情報システム、諸資料などを効果的に活用する技能を身に付けている。 | 日本と中国大陸・朝鮮半島との関係や、日本の文化や政治に与えた内容などについて、多面的・多角的に考察し、表現することができている。また、現代社会の諸課題について合意形成や社会参画を視野に入れながら、その課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察し、表現することができている。 | 地理や歴史に関わる諸事象を学習することで、我が国の国土や歴史に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて理解し、主体的に学ぶ姿勢を身に付けている。また、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度が身に付いている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 日本の様々な地域 | ・世界から見た日本の自然環境<br>1　世界の地形<br>2　日本の山地と海岸 | a:日本の国土および世界の諸地域に関して地域の諸事象や地域的特色を理解している。<br>b:地理に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br>ワークシート<br>振り返りシート |
| | 生活圏の諸課題の地理的考察 | ・日常生活と結びついた地図<br>1　身近な地図を読みこなす<br>2　自然環境と防災 | a:日常生活の中でみられる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性になどについて理解している。<br>b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方など、多面的・多角的に考察し、表現できている。<br>c:地図や地理情報システムを防災や地域課題の解決に活用しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br>ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ２学期 | 原始・古代 | ・日本文化のあけぼの<br>１　日本列島の旧石器時代<br>２　原始時代の人の暮らし<br>３　邪馬台国はどのような国か | a：旧石器時代から縄文時代への変化、弥生文化の成立などを基に、原始社会の特色を理解している。<br>b：資料を通して読み取れる情報から原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できている。<br>c：表現した仮説を踏まえ、クラスメイトと課題を共有し、考察を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | | ・律令国家の成立<br>１　律令政治はどのようなものだったか<br>２　奈良時代の政治はどのように推移したか<br>３　平安初期の文化の特色<br>４　摂関時代の政治 | a：律令体制の成立過程などをもとに、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。<br>b：隋・唐などの中国王朝との関係と、政治や文化などへの影響に着目して、古代の国家の形成について、多面的・多角的に考察している。<br>c：東アジアとの関係性や、平安時代の文化に関心を持ち、考察を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | | ・武家政権の成立<br>１　武士はどのように成長したのか<br>２　鎌倉幕府はどのように成立したか<br>３　鎌倉幕府はなぜ滅びたか | a：武家政権の成立と展開、鎌倉時代の特色を理解している。<br>b：資料を通して読み取れる情報から、鎌倉時代の特色について多面的・多角的に考察できている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | 中世 | ・室町幕府と下克上の社会<br>１　室町幕府の政治はどのように推移したか<br>２　戦国時代はどのようにしてはじまったか | a：武家政権の変容や日明貿易の展開、多様な文化の形成などの社会変容を理解している。<br>b：資料を通して読み取れる情報から中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できている。<br>c：公武の関係性の変容や、室町代の文化に関心を持ち、考察を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・中世から近世社会へ<br>１　信長と秀吉はどのように天下を統一したか<br>２　秀吉の政治と対外政策はどのようなものか | a：織豊政権の政治・経済政策、対外関係などを基に中世から近世への時代の展開を理解している。<br>b：時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察している。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | 近世 | ・幕藩体制の成立と展開<br>１　幕藩体制とはどのようなのか<br>２　江戸幕府の政治はどのように推移したか | a：　法や制度による支配秩序の形成と身分制、幕藩体制の確立など、近世社会の特色を理解している。<br>b：資料を通して読み取れる情報から近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現できている。<br>c：社会・経済の枠組みの変化や国際情勢の変化に関心を持ち、考察を深めている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | 近代 | ・近世から近代社会へ<br>１　日本はなぜ開港したか<br>２　開港は社会にどのような影響を与えたか | a：対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊などを基に、近世から近代への時代転換を理解している。<br>b：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化や、日本に対する影響を多面的・多角的に考察できている<br>c：開国が後の社会に与えた影響について関心を持ち、考察を深めている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | 民主政治と私たち | ・民主政治と政治・司法参加<br>１　私たちの民主政治<br>２　18 歳の選挙権 | a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することで、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るために必要なことを理解している。<br>b:　現代社会の諸課題について合意形成や社会参画を視野に入れながら、その課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察し、表現することができている。<br>c:社会形成に参画することを念頭に参政意識を高めている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | 法の働きと私たち | ・市民生活と司法<br>１　多様な契約<br>２　消費者の権利と責任 | a:多様な契約及び消費者の権利と責任などを基に、個人や社会の紛争を解決することによって、権利や自由が保障されることを理解する。<br>b:現代社会の諸課題について合意形成や社会参画を視野に入れながら、その課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察し、表現することができている。 | 定期考査 | 定期考査<br>提出物 | 提出物<br><br>ワークシート<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度